

開 催 実 施 要 項

- 1 大会名 令和5年度 福岡県高等学校総合体育大会弓道選手権大会
 兼 第68回 全国高等学校総合体育大会県予選
 兼 令和5年度 福岡県高等学校弓道競技大会
 兼 第69回 全九州高等学校体育大会県予選会
- 2 主催 福岡県高等学校体育連盟・福岡県教育委員会
- 3 後援 福岡県弓道連盟・読売新聞社・西日本新聞社
- 4 主管 福岡県高等学校体育連盟弓道専門部
- 5 期日 競技 令和5年4月29日(土) 11時00分～ 個人競技(女子)
 4月30日(日) 11時00分～ 個人競技(男子)
 5月20日(土) 11時30分～ 団体競技
 5月21日(日) 9時30分～ 団体競技

※開会式・開始式・閉会式は実施しない。

- 6 会場
 (1) 全日程 博多の森弓道場 (福岡県福岡市博多区東平尾公園1-1)
 (2) 選手控場所 博多の森テニス場センターコートデッキ下駐車場(全面)
 CCコートエントランスホール内
 (※遠的射場については補助役員担当校の控え場所)

- 7 競技種目 競技の種目、種別、種類及び規格は、次のとおりとする。
 (1)種目：近的競技
 (2)種別：男子の部・女子の部
 (3)種類：個人競技・団体競技
 (4)規定：木枠(または適当な材料)直径36cmの震的・直径24cmの星的

8 競技日程

種類	月日(曜日)	時間	競技内容
個人 競技	4月29日(土)	11:00～13:00	女子個人 予選(1立目) 立射
		13:00～15:00	女子個人 予選(2立目) 立射
		15:00～16:00	女子個人 予選(3立目) 立射
		16:00～16:15	女子個人 順位決定 立射
		競技終了後	女子個人 表彰(賞状授与のみ)
	4月30日(日)	11:00～13:00	男子個人 予選(1立目) 立射
		13:00～15:00	男子個人 予選(2立目) 立射
		15:00～16:00	男子個人 予選(3立目) 立射
		16:00～16:15	男子個人 順位決定 立射
		競技終了後	男子個人 表彰(賞状授与のみ)

※予定時間のため若干変更する場合もある。進行状況に注意すること。

種類	月日(曜日)	時間	競技内容
団体 競技	5月20日(土)	11:30～13:30	団体競技 予選(1立目) 立射
		13:30～15:30	団体競技 予選(2立目) 立射
		15:30～16:00	リーグ戦進出校決定競射 立射
		競技終了後	決勝リーグ抽選会 (近的射場)
	5月21日(日)	9:30～17:00	決勝リーグ 立射
	競技終了後	団体競技表彰 (賞状・優勝旗授与)	

※予定時間のため若干変更する場合もある。進行状況に注意すること。

- 9 競技規則 (公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則(必携)「2022発行」及び大会要項による。

10 競技方法

- (1) 団体競技及び個人競技は、男女とも次のとおり行う。

ア 個人競技

- (ア) 各自4射3立計12射を行い、総的中数によって順位を決定する。順位が決まらない場合は射詰めによる順位決定とする。射詰めについては射詰5本目より八寸的を用いる。2位以下は遠近法による。

イ 団体競技

- (ア) 予選は、各自4射2立計40射を行い、的中数上位より7チームを予選通過とする。同中のチームが出た場合は各自1射計5射の的中数によって決する。予選終了後、決勝リーグ抽選会を行う。
 - (イ) 決勝は、リーグ戦を行い、同中の場合は、各自1射計5射の競射を行う。競射の1本目は替矢を使用し、監督（補欠選手の代行可）は替矢を持って選手と共に入場する。
- (2) 競技時間の制限
- ア 競技時間は、本座における進行係の「始め」の合図によって始まり、最後の射手の、最後の離れで終わる。
 - イ 決勝リーグにおいてのみ制限時間を設ける。1団体の行射制限時間は7分とする。6分30秒で予鈴、7分で本鈴の合図をする。予選における1団体の制限時間は設けない（努力目標とする）が進行の関係上制限時間内（7分以内）に収まるようにすること。
 - ウ 弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。ただし、審判委員の指示により競技が停止された時間は制限時間から除外する。
 - エ 個人競技および順位決定戦等の制限時間のない場合は、「弦音打起し」の競技の間合いを原則とする。
- (3) リーグ抽選
- ア 組合せはすべて抽選による。
 - イ 予選の的中上位（同中の場合は予選の立順）から抽選する。
- (4) 招集
- ア 第2控において、選手の確認、ゼッケンおよび服装・弓具の点検をする。
 - イ ゼッケンのない選手については「その立」に限り失権とする。そのために、団体に欠員が生じてても欠員のまま団体とする。なお、個人戦に限り学校名が分かるゼッケンで構わない。
- (5) 選手の交代
- ア 団体選手交代は、登録選手以外認めない。
 - イ 先発メンバーは登録順に5名とし、選手の交代は監督会議までに2回、予選開始後で2回、決勝リーグ戦で5回まで認める。ただし、立順変更は認めない。
 - ウ 一人の交代を1回と数える。なお、予選後の順位決定競射については予選2立目のメンバーとする（選手の交代は認めない）。また、決勝リーグ戦開始時のメンバーは予選終了時のメンバーとする。
 - エ 選手交代届は所定の用紙に記入し、監督または引率責任者が届け出ること。
 - オ 交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
 - カ 個人競技の選手変更は認めない。
- (6) その他
- 取矢ができない選手は、所定の用紙で事前に届け出て許可を得ること。

11 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、常勤講師、実習助手、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。
- (2) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部講師の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保健）に必ず加入することを条件とする。

12 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、福岡県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、全国弓道競技専門部に登録し、本開催要項により参加資格を得た者。
- (3) 全日本弓道連盟に登録された者であること。
- (4) 年齢は、2004年（平成16年）4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成を認めない。
- (6) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校・転籍後6か月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準る）但し、一家転住等のやむを得ない事由による場合は、福岡県高体連弓道専門部で調査し高体連会長の承認があれば、この限りでない。

- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(4)については、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
 - ウ 学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は3学年までとする。

13 参加制限

- (1) 各ブロックからの出場人員は下記の基準による。
- ア 個人競技
 - (ア) 男子は各ブロック予選で8射5中以上の成績を収めた者。
 - (イ) 女子は各ブロック予選で8射5中以上の成績を収めた者。
 - イ 団体競技
 - (ア) 1校から男子1チーム、女子1チーム以内とする。
 - (イ) 男子・女子ともに下記の通りとする。
 - 中部ブロック 1位から5位に入賞した学校
 - 南部・北部ブロック 1位から4位に入賞した学校
 - 筑豊ブロック 1位から3位に入賞した学校
- (2) 個人競技の編成は、監督1名、選手1名の計2名とする。
- (3) 団体競技のチーム編成は、監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とする。
- (4) 大会参加にあたっては、以下の項目を遵守すること。
- ア 会場・控え場所への入場については、選手・監督・引率責任者・競技役員・補助役員・生徒(マネージャー等)のみとする。その他(保護者・OB・一般等)の入場は観覧席のみ認める。
 - イ 大会当日は各自必ず検温を行い来場すること。発熱がある場合は来場することはできない。選手以外も同様とする。
 - ウ マスクの着用を強制する事はないが、各自感染防止対策を講じること。
 - エ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
 - オ 他の参加者、競技役員・補助員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。特に昼食時には黙食を行うこと。
 - カ 会場では大きな声で会話、応援等を行わないこと。
 - キ 感染防止対策のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

14 参加申込

※個人情報の取り扱いに関して

大会に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(詳しくは下記16を参照してください。)

- (1) 申込書類
- 参加申込書1部(原本【公印を押したもの】)とその写し2部
 - ※県大会1日目に県大会会場で、所属するブロック専門委員長に手渡しで渡すこと。
- (2) 申込方法
- ア 各参加校は、以下(5)に示すホームページから参加申込の様式をダウンロードし、参加申込書を3部(1部+写し2部)作成すること。
 - イ 各ブロック専門委員長は、ブロック予選において参加校・参加者を取りまとめ、別紙申込書に必要事項を記入し下記の申込先まで申し込みを行うこと。
- (3) 個人競技申込先
- ア 申込先 中部ブロック専門委員長 城東高校 教諭 山田 信兵衛 先生
E-mail s.yamada@jyoto.ed.jp
 - イ 申込期限 令和5年4月24日(月)正午まで
- (4) 団体競技申込先
- ア 申込先 南部ブロック専門委員長 大川樟風高校 教諭 野村 龍之介 先生
E-mail nomura-r@fku.ed.jp
 - イ 申込期限 令和5年5月15日(月)正午まで
- (5) 「福岡県高等学校体育連盟」ホームページ
<http://www.fukuoka-koutairen.com/>

15 立順

(1) 個人競技

- ア 4月29日(土)に女子個人、4月30日(日)に男子個人を行う。
- イ 地区については「南部、北部、筑豊、中部」の順とする。なお、各ブロック内での立ち順についてはブロックにて事前に決定する。

(2) 団体競技

- ア 男子団体、女子団体の順に行う。
- イ 地区ごとの立順は「北部、筑豊、中部、南部」の順とし、各ブロック上位校より順に決定する。

【例：北部1位⇒筑豊1位⇒中部1位⇒南部1位⇒北部2位⇒…】

16 個人情報および肖像権に関わる取扱について

上記取り扱いについては、高体連HP「個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に記載のとおりとする。

17 参加負担金

(1) 参加負担金納入

- 団体競技 1チーム 5,000円
- 個人競技 1人 500円

(2) 納入方法

参加負担金は後日、各高校に請求する。県大会当日の持参は必要ない。

18 表彰 団体は上位3位まで、個人は上位8位まで表彰する。

19 取得制限

(1) 全九州大会

男女とも団体優勝校・2位校、個人1～5位は全九州高等学校大会（鹿児島県鹿児島市 6月30日～7月2日）に出場することができる。

(2) 全国総合体育大会

男女とも団体優勝校、個人1, 2位は、全国高等学校総合体育大会（北海道札幌市 8月3日～8月6日）に出場することができる。

(3) その他

団体戦出場校と個人戦出場校は兼ねることができる。

20 諸会議

会議名	日時	会場	出席者
専門委員長会議	4月29日(土) 10:00～10:30	博多の森弓道場 会議室	専門委員長・総務委員 各ブロック専門委員長
	5月20日(土) 10:00～10:30	博多の森弓道場 会議室	
監督会議(個人戦)	4月29日(土) 10:30～10:45	博多の森弓道場 近的射場	出場校監督 引率責任者 専門委員長・総務委員 各ブロック専門委員長
	4月30日(日) 10:30～10:45		
監督会議(団体戦)	5月20日(土) 11:00～11:15	博多の森弓道場 近的射場	出場校監督 引率責任者 専門委員長・総務委員 各ブロック専門委員長
	5月21日(日) 9:00～9:15		

21 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、障害等の応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- (2) 出場選手は、四つ矢の他に替矢を持参すること。
- (3) 監督または引率責任者は監督会議に必ず参加すること。
- (4) 選手の服装は、以下の通り各学校で統一する事。
 - ア 弓道衣、袴、足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一する事。
 - イ 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一する事。襟付き・ハイネックは不可とする。
 - ウ 学校指定の制服(下衣)、白シャツ(無地)、白靴下を着用してもよい。
- (5) リボン、その他の装身具類は禁止する。
- (6) 鉢巻を使用する場合は無地とし(文字を入れる場合は結び目より先とする)、長さは肩までとする。

- (7) 選手は、次の要領でゼッケン（白地）を作成し、右腰前につけること。
ア 規格及び記載例（令和7年度より以下の規格で実施）

1 8 c m

福 岡 県
学 校 名
（立順） 1 ～ 7

1 2 c m

学校名は校名のみでもよい。

イ 個人出場者は学校名が分かればよい。

ウ 男子の選手番号は黒、女子の選手番号は赤で記入する。（令和7年度より）

※令和6年度までは上記規定のうち下記を満たせばよいものとする。

(ア) ゼッケンの規格（18cm×12cm）

(イ) 学校名および立順（1～7）の記載

- (8) ゼッケンを着けていない選手は入場を認めない。
- (9) 弓具に照準、目印をつけてはならない。
矢摺籐の長さは6cm以上、また籐が開いていれば詰めさせる。
替弦のない選手が弦切した場合は残りの矢は失権とし、残った矢を持って退場させる。（替弓が可能なら続行させる。尚、同一チーム内の替弓は認めない。）
- (10) 引率責任者のいない学校は出場を認めない。
- (11) この大会は令和5年度国民体育大会予選を兼ねる。
（最終選考会6月4日。博多の森弓道場）
- (12) この大会は令和5年度紫灘旗全国高校遠的弓道大会出場候補校の予選を兼ねる。
- (13) 上位大会出場者に棄権が生じた際の繰り上げ出場校（者）決定のため団体7位、個人8位までの順位を決める。
- (14) 会場内外にゴミを残さないように引率の先生方でご指導願います。
- (15) 更衣については必ず更衣室を利用すること。

23 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

別紙、弓道大会開催にあたっての注意事項（別添1）を出場選手全員に配布し徹底を図ること。

24 問い合わせ先

〒836-8577 福岡県大牟田市上官町4-77

Tel : 0944-53-3036 Fax : 0944-52-1832

福岡県立三池工業高等学校 教諭 中野 祐貴

新型コロナウイルス感染症 感染予防
弓道大会開催にあたっての注意事項

1 大会全般について

- (1) 開会式・閉会式は行わず、入賞者の表彰のみとする。
優勝旗等については、前年度優勝校が競技開始前に事前に本部へ返還すること。
- (2) 大会に参加できるのは、監督・引率責任者・選手（登録選手）・応援生徒（学校生徒）・競技役員（審判）・競技補助役員のみとする。応援として、選手・応援生徒以外の生徒、監督・引率責任者以外の教職員、保護者、卒業生等は会場・選手控えへは来場できないが、観覧席へは来場を可とする。
- (3) すべての大会参加者は事前に検温・健康チェックをすませること。マスクの着用に関して強制する事はないが、各自感染防止対策を講じること。（厚生労働省令和5年2月10日発行資料を参照のこと）
- (4) 入場者に対して、発熱等の症状が見られる場合には入場を制限する場合もある。

2 大会参加について

- (1) 引率責任者は、大会期間全ての日程において、各学校は大会参加者（保護者・卒業生等を除く）の検温・健康チェックを事前に行っておく事。大会本部への報告は必要としなが、感染経路等を確認する場合には尋ねることもあるので、各学校で試合前2週間の検温記録については試合後2週間が経過するまでは記録を残しておくこと。
なお、専門委員長は大会運営に支障がある場合にはその結果を各ブロック理事長に報告する。（県大会の場合は理事長に報告する）
- (2) その他の注意喚起について
 - ア 十分な距離（フィジカルディスタンス）の確保を行う。
 - イ 弓具およびタオルの共用を避けること。
 - ウ 飲食については、所定の控え場所以外で行わず、周囲の人と距離をとり対面を避けて飲食を行うこと。また、飲食中の会話や飲み回しなどの飲食物の共有を控えること。また、飲食に伴うゴミ等については各自で持ち帰ること。（会場内のゴミ箱は使用禁止とする。※自動販売機横のゴミ箱等も含めて）

3 大会参加申込について

- (1) 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書【別添2】を取り、校長責任のもと申し込みを行うこと。同意書は各学校で保管すること。
- (2) 大会参加を強要することがないよう配慮すること。

4 競技会場について

- (1) 控えの椅子の間隔については十分な距離を確保し、チームごとの間隔も空けて控えを準備する。
- (2) 射場内に設置してある窓・扉などについては開けたままにする。

5 競技について

- (1) 原則として、射手の間隔1.8m以上確保する。ただし、射場の構造上2m確保できない場合は、射手の間隔を1.6m以上あけるものとする。
- (2) 選手へのマスクの着用に関して、強制する事はないが、各自感染防止対策を講じること。射場への入場前・退場後についてもマスクの着用に関しては各自の判断とする。
- (3) 原則として、入場口と退場口については別とする。ただし、射場の構造上、退場する選手と入場する選手が交錯する場合は、前立の退場が終わってから入場をする。
- (4) 発声による応援は行わない。ただし、拍手での応援は認める。

6 競技運営・審判等について

- (1) 審判は業務に当たる際、マスクの着用に関して、強制する事はないが、各自感染防止対策を講じ、審判業務を行うものとする。ただし、発声を行う業務（進行・招集

- 等)についてはマスクを着用して業務にあたるものとする。
- (2) 補助役員については、アルコール等による手指消毒を実施し業務に当たる。
 - (3) 競技役員へのお弁当・飲料の配布等を行わない(食料費として別途支給する)。

7 競技会場以外の大会会場について

- (1) 観客席について
 - ア 座席がある場合は周囲との距離を意識して着席すること。また、立って応援を行う場合については、応援者の間隔を1 m程度あけて応援すること。
 - イ マスクの着用に関して、強制する事はないが、各自感染防止対策を講じること。
 - ウ 観客席が狭く、上記の対応を行っても密を防ぐことが困難である場合には、観客席を制限する等の措置を講じる場合もある。
- (2) 更衣室について
 - ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。また、可能な限り事前に更衣をすませて参加し、競技終了後は更衣をせずに帰宅させる等の依頼をする。
 - イ 換気扇を常に回す、換気用の窓を開けるなど十分な換気を行う。
- (3) 選手控えについて
 - ア 選手の控え場所については所定の場所を利用すること。可能な限り密接・密集を避け、会話を控えること。
- (4) 手洗い場・トイレ等について
 - ア 手洗い場にはハンドソープを準備し、こまめな手洗いを掲示物等で喚起をうながす。
 - イ 手洗い場等には共用のタオルを設置しない。参加者へ手洗い後に手を拭くためのタオルの持参をうながす。また、手指を乾燥させる設備等については使用しないようにする。
 - ウ トイレの蓋がある場合については、蓋を閉めて汚物を流すように指示する。
- (5) 救護室について
 - ア 緊急対応用の救護室を1室以上確保する。感染が疑わしい者についてはすぐに隔離し、他の参加者と接触がないようにするとともに、すぐに帰宅させる。

【別添2】

同意書

新型コロナウイルス感染症に関する注意事項(別紙)を遵守し、感染拡大防止に努め、福岡県高等学校総合体育大会弓道選手権大会ブロック予選及び福岡県大会出場に同意いたします。また、感染の疑いが認められる場合には参加を辞退します。

令和5年 月 日

学校長 殿

部活動名 弓道部

氏名

保護者氏名 印

電話番号